

## 大会アピール

### 「生徒あってこそその学校」、子どもの命を守り、豊かな学びを保障しよう！

私たちは、今日この府高教大会に集い、私たちが日々直面している困難さを共有しました。同時に、その中でも今を生きる高校生の成長していく姿を思い、教育に携わる者としての喜びと使命を分かち合うことができました。

新型コロナウイルス感染拡大は、教育現場にも大きな影響を与えています。国レベルでの休校要請から緊急事態宣言、分散登校や自宅学習の教材作成、オンライン授業、「新しい生活様式」での授業対応など、状況はめまぐるしく変化しています。一方で、今回の件はこれまで社会が抱えていた課題や矛盾を一気に噴出させ、時代の変化を急激に加速させています。これまで、私たちの社会は効率（競争）化を名目にして、医療・福祉・その他社会保障制度を削減してきました。大阪の公立学校においては維新政治のもとで学校再編・統廃合がすすめられ、教職員の定数削減が行われてきました。トップダウン、詰め込みの教育は学校現場を疲弊させてきました。また、公教育の市場化・民営化が急速に進展し、経済格差がそのまま教育における格差となっています。少人数学級、高校無償化、給付制奨学金など私たちが要求してきたことが今、切実な課題として浮かび上がっています。公教育にける予算を抜本的に拡充することが必要です。学校の規模も少人数学級を実現すれば、「新しい生活様式」の中での対応にも余裕ができるはずで

過酷な状況であるからこそ、組合への期待も高まっています。国政では、「# 検察庁法改正案に抗議します」のツイートが支持を急速に伸ばし、内閣は方針転換をせざるを得ませんでした。大阪府においても、知事の一言で動く学校を作るのではなく、今こそ現場からの積み上げで学校を創る時です。私たちは、3ヶ月の「生徒がいない学校」から、「生徒あってこそその学校」であることを学びました。今、感じていることを大切にすべきです。「今だけ、金だけ、自分だけ」で私たち人間は生きていけません。教育の目的は、人格の完成をめざすこと。そこに立ち返り、こんな時だからこそ、全教職員の連帯を呼びかけます。世には、この間において空前の大儲けをしている企業もあれば、緊急事態条項導入を叫び改憲を狙う政治的な動きもあります。今回の事態で、世界は「金儲け優先」主義の破綻を学びました。私たちの日々の教育活動は、間違いなく次の時代を創っていきます。その時代を、良識をもった世代とすることが求められます。私たちは、運動をさらに広げ子どもの命を守り、豊かな学びを保障していきましょう。

以上、決議します。

2020年6月20日 第91回府高教定期大会